



本部より

平成17年度第1回総会開催について

社団法人 日本動物学会会長 浅島 誠

平成16年度事業報告書、及び収支決算報告に関し、下記の日程で平成17年度総会を開催いたします。会員皆様におかれましては、掲載されています原案をよくお読みになりまして、綴じ込みの葉書で、委任状をご投函ください。これは、本会が料金を負担します。総会にはご出席もちろん可能です。是非ご参集ください。

日時：平成17年3月19日(土) 午後1時より

場所：動物学会本部事務局

文京区本郷2-27-2 東真ビル

議題：第一号議案 平成16年度事業報告

第二号議案 平成16年度決算報告

第三号議案 中部支部笹山雄一会員 理事就任について

第四号議案 文部科学省指導による定款改正について

以上

議案説明

平成16年度事業報告書(案)

1. 学術集会の開催

(社)日本動物学会第75回大会

甲南大学(神戸市)

会期：9月10日(金)-12日(日)

参加者数1200名 演題数(ポスター)623題

シンポジウム20 テーマ107題

(社)日本動物学会125周年記念講演会「日本動物学会125周年を迎えて」

市民交流会「動物学ひろば」

動物学ひろばシンポジウム「死を通して生命を見る」

動物学ひろばポスター発表

高校生によるポスター発表 19校27題

学会全体の公開

2. 全国7支部による支部大会およびシンポジウムの開催

5月15日(土)-16日(日)第57回九州支部大会(九州大学箱崎キャンパス)

口演 22題

4月17日(土)三学会合同熊本例会(熊本大学理学部)

講演：「可変型遺伝子トラップ法を用いた RhoA 遺伝子の解析」荒木正健(熊本・生命資源研究支援センターバイオ情報分野),「海藻クロメから得られるポリフェノールの機能性とその利用に向けた取り組みについて」長山公紀(水産研究センター利用加工研究部),「天草におけるサンゴの北上：身近な地球温暖化」野島 哲(九大・天草臨海実験所)

5月22日(土)三学会合同沖縄例会 共催：沖縄生物学会(名城大学)

一般口演18題,シンポジウム「やんばるの危機—マングースの北進とペット問題—」金城道男(おきなわフィールドワーク)・長嶺 隆(ヤンバルクイナたちを守る獣医師の会)・仲地 学(南西環境研究所)

12月13日(土)九州支部鹿児島例会(鹿児島大学理学部)

高等学校における生物研究成果発表「鹿児島県日置郡に生息するヒグラシに関する研究」田中良浩・神田雄樹・福山真子・郡山 純・楠原千穂・中村志保(甲陵高等学校科学同好会),「天降川におけるカワゴケソウの分布とその形態」福塚佑介・宇都宮千恵美・救仁郷恵里・和田浩平・崎山由美・福崎浩子(国分高等学校理数科2年生物班),「カワゴケソウの生息する川の環境化学」有村太志・原田裕基・竹下綾香・二反田智春・羽生絵里菜・薬丸麻菜美(国分高等学校理数科2年化学班),「奄美群島与路島の生物総合調査報告」村山匡志・渡 将吾(古仁屋高等学校生物同好会)

特別講演「地球温暖化の中での耐暑性植物の育種戦略」射場 厚(九大・院・理・生物科学)

3. 動物学の普及活動

平成15年11月5日提出「移入種対策に関する措置の在り方について(中間報告)」についてのコメント

4. 学会誌・図書の刊行

Zoological Science 21巻1号-21巻12号

生物科学ニュース 385号-396号

5 . 動物学研究業績の表彰と研究奨励

動物学会賞

蟻川謙太郎 (横浜市立大学)

「チョウ類の光感覚に関する研究」

藤澤敏孝 (国立遺伝学研究所)

「ヒドラのペプチド性シグナル分子の組織的解析」

奨励賞

千葉和義 (お茶の水女子大学)

「ヒトデ卵を用いた減数分裂と受精の研究」

深津武馬 (産業技術総合研究所)

「昆虫類における共生微生物の機能, 起源, 進化に関する研究」

第4回「日本動物学会 女性研究者奨励 OM 賞」

木下充代 (横浜市大・院・総合理学・博士研究員)

「アゲハ脳における神経伝達物質と生理活性ペプチドの分布地図作成」

沓掛磨也子 (産総研・生物機能工学部門・生物共生相互作用研究グループ・第一号非常勤職員 (ポスドク))

「社会性アブラムシにおける兵隊特異的発現プロテアーゼの機能と進化に関する研究」

江上基金 (若手研究者国際会議出席費用補助金) 受賞者

有岡幸子 (慶應義塾大学) 第19回国際動物学会 (北京) に参加

笹倉靖徳 (京都大学大学院) The Second Annual International Conference on Transposition and Animal Biotechnology (Minneapolis) に参加

論文賞

- 1) Suzuki, A. C. (2003) Life History of *Milnesium tardigradum* Doyère (Tardigrada) under a Rearing Environment. Zool. Sci. 20 : 49-57.
- 2) Henmi, Y and Yamaguchi, T. (2003) Biology of the Amphioxus, *Branchiostoma belcheri* in the Ariake Sea, Japan I. Population Structure and Growth. Zool. Sci. 20 : 897-906.
- 3) Yamaguchi, T and Henmi, Y. (2003) Biology of the Amphioxus, *Branchiostoma belcheri* in the Ariake Sea, Japan II. Reproduction. Zool. Sci. 20 : 907-918.
- 4) Ito, I, Watanabe, S, Kimura, T, Kirino, Y and Ito, E. (2003) Negative Relationship between Odor-

Induced Spike Activity and Spontaneous Oscillations in the Primary Olfactory System of the Terrestrial Slug *Limax marginatus*. Zool. Sci. 20 : 1327-1335.

- 5) Ito, I, Watanabe, S, Kimura, T, Kirino, Y and Ito, E. (2003) Distributions of γ -Aminobutyric Acid Immunoreactive and Acetylcholinesterase-Containing Cells in the Primary Olfactory System in the Terrestrial Slug *Limax marginatus*. Zool. Sci. 20 : 1337-1346.
- 6) Yamamoto, T, Yao, Y, Harumi, T. and Suzuki, N. (2003) Localization of the Nitric Oxide/cGMP Signaling Pathway-Related Genes and Influences of Morpholino Knock-Down of Soluble Guanylyl Cyclase on Medaka Fish Embryogenesis. Zool. Sci. 20 : 181-191.
- 7) Ichikawa, T. (2003) Firing Activities of Neurosecretory Cells Producing Diapause Hormone and its Related Peptides in the Female Silkmoth, *Bombyx mori*. I. Labial Cells. Zool. Sci. 20 : 971-978.
- 8) Ichikawa, T. and Kamimoto, S. (2003) Firing Activities of Neurosecretory Cells Producing Diapause Hormone and its Related Peptides in the Female Silkmoth, *Bombyx mori*. II. Mandibular and Maxillary Cells. Zool. Sci. 20 : 979-983.

安増基金授与者 安増基金受賞者 5 名

池永隆徳・岡田令子・田守洋一郎・中本章貴・吉崎史子

6 . 研究及び調査 (各委員会関係ほか)

- 1) 動物学資料保存に関する調査 (資料保存委員会) Zootree データベースの作成
 - 2) 将来の動物学の在り方に関する調査 (動物学将来計画委員会)
 - 3) ガイアリスト21計画の推進 (ガイアリスト21委員会)
 - 4) 生物教育用語の検討 (学術用語集改訂委員会)
 - 5) 実験動物取り扱いに関する指針の検討
 - 6) 研究用動物提供プロジェクト
- ## 7 . SPARC / JAPAN 事業への参画

収 支 計 算 書
平成16年1月1日から平成16年12月31日まで

(単位:円)

科 目	予算額	決算額	差異	備考
I 収入の部				
1 基本財産運用収入	(70,000)	(8,680)	(61,320)	
2 入金会収入	(30,000)	(46,000)	(-16,000)	
3 会費収入	(22,520,000)	(22,417,386)	(102,614)	
通常会員会費収入	21,000,000	20,789,386	210,614	
団体会員会費収入	1,500,000	1,608,000	-108,000	
賛助会員会費収入	20,000	20,000	0	
4 事業収入	(17,300,000)	(21,862,322)	(-4,562,322)	
学術誌発行事業収入	8,800,000	9,615,868	-815,868	
学術誌予約購読料収入	2,500,000	1,973,986	526,014	
学術誌掲載料収入	300,000	776,000	-476,000	
広告料等収入	6,000,000	6,865,882	-865,882	
学術集会参加費等収入	8,500,000	12,246,454	-3,746,454	
5 補助金等収入	(10,000,000)	(17,830,000)	(-7,830,000)	
日本学術振興会学術誌刊行補助金	10,000,000	15,100,000	-5,100,000	
文部科学省科学研究費公開促進費B	0	2,730,000	-2,730,000	
公開シンポジウム開催補助金	0	0	0	
6 雑収入	(200,000)	(830,293)	(-630,293)	
利子収入	0	160	-160	
雑収入	200,000	830,133	-630,133	
7 寄付金収入	(0)	(1,765,200)	(-1,765,200)	
8 特定目的資産取崩収入	(1,700,000)	(1,253,090)	(446,910)	
OM賃基金取崩収入	1,000,000	1,000,000	0	
安増基金取崩収入	500,000	83,450	416,550	
江上基金取崩収入	200,000	169,640	30,360	
当期収入合計 (A)	51,820,000	66,012,971	-14,192,971	
前期繰越収支差額	0	1,284,994	-1,284,994	
収入合計 (B)	51,820,000	67,297,965	-15,477,965	

科 目	予算額	決算額	差異	備考
II 支出の部				
1 事業費	(42,220,000)	(47,913,500)	(-5,693,500)	
学術集会の開催				
大会の開催	9,000,000	12,246,454	-3,246,454	
学会誌等の刊行				
英文学術誌の刊行				
印刷出版費	20,000,000	18,453,270	1,546,730	
通信運搬費	2,400,000	2,852,564	-452,564	
編集費	4,000,000	4,304,432	-304,432	
邦文情報誌の刊行				
印刷出版費	1,800,000	1,877,330	-77,330	
通信運搬費	600,000	652,146	-52,146	
謝金	400,000	437,020	-37,020	
名簿の発行	0	0	0	
研究の奨励及び研究業績の表彰				
動物学会賞	200,000	200,000	0	
江上学術奨励	200,000	169,640	30,360	
安増基金奨励金	500,000	83,450	416,550	
日本動物学会OM賞	1,000,000	1,000,000	0	
藤井賞	300,000	0	300,000	
その他の事業費				
関係学術団体との連絡・協力	20,000	117,650	-97,650	
支部活動補助費	100,000	53,000	47,000	
委員会活動費				
研究用動物提供プロジェクト委員会	50,000	0	50,000	
動物学推進将来計画委員会	200,000	130,360	69,640	
ガイアリスト21委員会	1,000,000	0	1,000,000	
広報委員会	300,000	11,000	289,000	
動物学資料保存委員会	150,000	0	150,000	
公開シンポジウム開催費	0	2,730,000	-2,730,000	
データベース作成費	0	2,595,184	-2,595,184	
受託調査費	0	0	0	
2 管理費	(11,490,000)	(15,435,065)	(-3,945,065)	
給料手当	3,900,000	5,058,940	-1,158,940	
法定福利費	650,000	909,052	-259,052	
会議費	100,000	86,306	13,694	
旅費交通費	1,500,000	2,776,690	-1,276,690	
通信運搬費	1,200,000	1,500,011	-300,011	
消耗品費	500,000	522,199	-22,199	
製本費	100,000	1,900	98,100	
光熱水料費	240,000	246,118	-6,118	
謝金	800,000	1,148,907	-348,907	
賃借料	2,000,000	2,146,620	-146,620	
雑費	500,000	1,038,322	-538,322	
3 備品購入費	(100,000)	(248,188)	(-148,188)	
4 安増基金資産繰入支出	(0)	(16)	(-16)	
5 江上基金資産繰入支出	(0)	(58)	(-58)	
6 OM賃基金資産繰入支出	(0)	(1,000,018)	(-1,000,018)	
7 退職給与引当預金支出	(0)	(0)	(0)	
8 雑支出	(0)	(0)	(0)	
9 予備費	(100,000)	(0)	(100,000)	
当期支出合計 (C)	53,910,000	64,596,845	-10,686,845	
当期収支差額 (A) - (C)	-2,090,000	1,416,126	-3,506,126	
次期繰越収支差額 (B) - (C)	-2,090,000	2,701,120	-4,791,120	

(注) 1. 差異欄の(一)表示は、収入・支出ともに予算超過額を表し、黒字は予算残高を意味している。

財 産 目 録
平成16年12月31日現在

科 目	金 額		
I 資産の部			
1 流動資産			
現金預金			
現金 : 手許有高	194,547		
郵便振替貯金 : 本郷郵便局	3,494,499		
普通預金 : みずほ銀行本郷支店	1,101,830		
東京三菱銀行春日町支店	4,760,356		
みずほ科研費口座	5,262,872		
りそなニュース口座	173,507		
未収金 : 個人別刷代	1,058,500		
: その他	21,058		
流動資産合計		16,067,179	
2 固定資産			
基本財産			
貸付信託 : 中央三井信託銀行上野支店	10,000,000		
定期預金 : 三菱信託銀行丸の内支店	10,000,000		
基本財産合計		20,000,000	
特定目的資産			
安増基金資産 : 本郷郵便局	1,268,766		
江上基金資産 : みずほ銀行	5,714,985		
OM賞基金資産 : みずほ銀行	2,000,320		
特定目的資産合計		8,984,071	
その他の固定資産			
備品 : 図書一式	1,000,000		
: パソコン 5セット	368,829		
: ファクシミリ	55,774		
電話加入権 : 03-3814-5461	72,800		
保証金 : 事務室	800,000		
その他の固定資産合計		2,297,403	
固定資産合計		31,281,474	
資産合計			47,348,653
II 負債の部			
1 流動負債			
未払金	29,414		
前受会費	11,700,800		
仮受金			
預り金 : 源泉所得税	121,673		
: 住民税	45,500		
: 社会保険料	190,592		
: 北海道支部会費	80,000		
: 東北支部会費	90,400		
: 関東支部会費	492,180		
: 中部支部会費	149,600		
: 近畿支部会費	181,600		
: 中国・四国支部会費	149,600		
: 九州支部会費	113,600		
: その他	9,300		
流動負債合計		13,366,059	
2 固定負債			
固定負債合計		0	
負債合計			13,366,059
正味財産			33,982,594

貸 借 対 照 表
平成16年12月31日現在

(単位:円)

科 目	金 額		
I 資産の部			
1 流動資産			
現金預金	14,987,621		
未収金	1,079,558		
流動資産合計		16,067,179	
2 固定資産			
基本財産			
貸付信託	10,000,000		
定期預金	10,000,000		
基本財産合計		20,000,000	
特定目的資産			
安増基金資産	1,268,766		
江上基金資産	5,714,985		
OM賞基金資産	2,000,320		
特定目的資産合計		8,984,071	
その他の固定資産			
備品	1,424,603		
電話加入権	72,800		
保証金	800,000		
その他の固定資産合計		2,297,403	
固定資産合計		31,281,474	
資産合計			47,348,653
II 負債の部			
1 流動負債			
未払金	29,414		
前受会費	11,700,800		
仮受金			
預り金	1,624,045		
仮受金	11,800		
流動負債合計		13,366,059	
2 固定負債			
固定負債合計		0	
負債合計			13,366,059
III 正味財産の部			
正味財産			33,982,594
(うち前期繰越正味財産額)			(32,734,911)
(うち当期正味財産増加額)			(1,247,683)
負債及び正味財産合計			47,348,653

正 味 財 産 増 減 計 算 書

平成16年1月1日から平成16年12月31日まで

(単位:円)

科 目	金 額		
I 増加の部			
1 資産増加額			
当期収支差額	1,416,126		
安増基金資産増加額	16		
江上基金資産増加額	58		
OM賞基金資産増加額	1,000,018		
備品購入額	248,188		
2 負債減少額		0	
増加額合計			2,664,406
II 減少の部			
1 資産減少額			
備品減価償却額	163,633		
安増基金資産取崩額	83,450		
江上基金資産取崩額	169,640		
OM賞基金資産取崩額	1,000,000		
減少額合計		1,416,723	
当期正味財産増加額			1,416,723
前期繰越正味財産額			1,247,683
期末正味財産合計額			32,734,911
			33,982,594

平成16年度決算報告書説明

収入は会費収入をはじめとして概ね安定しており、このことが学会収支を良好な状況にしている。ただし、学術誌予約購読料収入に関しては、昨年の学会事務センター破綻で、本会は約100万円弱の未回収があり、これは今後取り戻せる可能性はないため、決算書には未収金として反映させていない。

支出は、予算通りの執行を行っており、事務局を二人体制にしたための給与手当増加分と、編集委員会等の活

発な活動を行ったための、旅費交通費が増大したが、これも学会活動の活発化を示すものであると認識している。しかしながら、動物学の発展推進のためにより合理的、また有効な予算執行を行うことが、会員皆様からの会費を預かる学会の使命であり、今後は、よりその点を検討課題としたい。

なお、1月26日、動物学会本部にて山口監事、星監事による会計監査を行い、予算は適切に執行されているという承認を頂いた。

大会だより

社団法人日本動物学会 第76回大会（つくば）第2回案内

はじめに

第76回大会は、関東支部が担当してつくば市のつくば国際会議場で開催されます。第1回案内（生物科学ニュース2005年1月号）でご紹介しましたように、一般発表は全てポスターとします。また、9月に開通予定であるつくばエクスプレスのつくば駅から程近いつくば国際会議場を利用するため、学会参加費が昨年と同じように多少高めになりました。今大会が会員の皆様にとって実り多い場となるように準備委員会一同、最善を尽くす所存ですので、多くの会員の皆様にご参加いただきますようお願い申し上げます。大会がつくばで開催されるのは初めてのことで、筑波研究学園都市は誕生してから30年を過ぎ、木々も大きく育ち、落ち着いた町並みとなりました。この緑豊かな環境の中に多くの研究機関と筑波大学が点在し、それらの間には密接な連携が生まれ、まさに研究学園都市として発展途上であります。つくばには観光名所はございませんが、研究学園都市の雰囲気を感じて頂ければと思います。会員の皆様を心よりお待ちしております。

第76回大会準備委員会 委員長 沼田 治

会期

2005年10月6日(木)～10月8日(土)

(期間中のスケジュールにつきましては、後述の「大会のタイムスケジュール」をご覧ください)。

会場

つくば国際会議場 (EPOCHAL TSUKUBA)

〒305-0032 茨城県つくば市竹園2-20-3

(詳しくはつくば国際会議場のホームページ <http://www.epochal.or.jp/> をご覧ください)

交通

JR 常磐線ひたち野うしく駅、荒川沖駅、土浦駅のいずれの駅からもバス（筑波大学中央行き）で約30分、つくばセンター下車徒歩10分、JR 東京駅八重洲口より常磐高速バス「特急つくば号」（つくばセンター行き）で約1時間、つくばセンター（終点）下車徒歩10分、つくば新線（つくばエクスプレス、2005年9月開業予定）秋葉原駅から45分、つくば駅（終点）下車徒歩10分。（詳しくはつくばエクスプレスのホームページ <http://www.mir.co.jp/> をご覧ください）

大会タイムスケジュール

参考に参加大会のタイムスケジュールの概要を以下に示します。都合により最終的なスケジュールは多少変更される場合があることをご承知おください。

2005年 動物学会第76回大会 タイムスケジュール

時刻	第1日目 10/6(木)	第2日目 10/7(金)	第3日目 10/8(土)
8:15	受付	受付	受付
9:00	ミニシンポジウム	シンポジウム	シンポジウム
10:00			
11:00	ポスター	ポスター	ポスター 高校生発表
12:00			
13:00	ミニシンポジウム	総会 受賞者講演	市民向公開講演会
14:00			
15:00	関連集会	懇親会	
16:00			
17:00			
18:00			
19:00			
20:00			

シンポジウム

本大会では2日目と3日目の午前にそれぞれ6会場でのシンポジウムを予定しています。このシンポジウムは公募によるもので、応募を受付中です。シンポジウムの企画のご希望がありましたら、3月31日までに企画書を準備委員会事務局(yamagishi@biol.tsukuba.ac.jp)までお送り下さい。企画書の形式は特に設けていませんが、シンポジウム名、シンポジウムの概要、講演者の名前と所属、責任者とその連絡先、参加予想人数(会場の割り当ての参考にします)を必ずご記入下さい。積極的な応募をお願いいたします。なお、使用できる会場や時間に制限があり、ご希望に添えない場合があることをあらかじめご承知下さい。

ミニシンポジウム

一般発表の申し込みの中から選抜形式によるミニシンポジウムを企画しています(一般発表の項を参照)。特に進展のあった分野、新発見のあった分野などを中心に構成したいと考えています。原則として準備委員会が構成を組めますが、特に提案がある場合は準備委員会事務局にお知らせ下さい。

一般発表

本大会では一般発表をポスターだけとし、発表日だけの展示となります。ポスターの番号により奇数番と偶数番に分け、発表時間はそれぞれ1時間半を予定しています(予定表の網掛けの部分)。ポスターパネルの大きさはタテ210cm ヨコ100cmです。ポスター作成時の注意事項は予稿集に掲載します。

主たる発表者としての発表は、1人1演題に限り、Equal contributionなどの特別な事情の場合は複数になっても構いません。発表は日本動物学会の会員に限られますので、非会員の方は必ず日本動物学会へ入会し、会費納入手続きをすましてから発表申し込みをして下さい。入会手続きに関しては日本動物学会のホームページをご覧ください(<http://www.soc.nii.ac.jp/zsj/>)。学会員であっても、平成17年度までの会費を未納の方は発表できませんので、会費を納入してから発表申し込みをして下さい。

一般発表の申込者から選抜形式でミニシンポジウムを構成します。ミニシンポジウムでの発表者として選抜の対象になることを希望されるか、されないかを申し込み時に選択して下さい。また、ミニシンポジウムの発表者として選ばれた場合に、ポスター発表も行いたい方も申し込み時に選択して下さい。

関連集会

大会1日目の夕刻に関連集会の開催が可能です。会員による関連集会の企画がありましたら、責任者の方は3月31日までに準備委員会事務局(yamagishi@biol.tsukuba.ac.jp)までご連絡下さい。その際、関連集会名、講演者の名前と所属、責任者とその連絡先、参加予想人数、過去の動物学会における実績を必ず記入して下さい。学術的な集会に関しては、積極的にシンポジウムの提案をして下さるようお願いいたします。会場費は1企画あたり10,000円になります(別途、プロジェクターのレンタル費などがかかる場合があります)。なお、会場数、時間が限られていますので、ご希望に添えない場合があることをご承知おき下さい。

高校生によるポスター発表

高校生による研究のポスター発表を第3日目(10月8日)に行います。参加された高校生には学会から賞状が授与されます。お知り合いの高等学校の先生方に参加を呼びかけていただくと幸いです。申し込みの締切りは6月15日(水)ですが、早めにお問い合わせください。なお会員の皆様には、ポスター発表の内容について積極的に高校生に話しかけ、議論をしていただきたいと存じます。

市民向け公開講演会

市民向け公開講演会「身近な生物の不思議」を第3日(10月8日)の午後に開催いたします。会員の皆様も多数ご参加下さい。

動物学ひろば

国際会議場に隣接する会場「カピオ」で、10月8日(土)・9日(日)につくば市が主催する小・中学生のための科学実験体験イベント「つくば科学フェスティバル」が開催されます。毎年、小・中・高校生や父母が2日間で延べ約一万人が参加します。このイベントと市民向け発表会の「動物学ひろば」が連帯して開催できるよう検討中です。共催が決まれば「動物学ひろば」を2日間行うこととなります。詳細については順次大会ホームページに掲載いたしますので、共催の際にはぜひご参加ください。

求人・求職案内ボードの設置

会員に対する就職活動支援の一環として求人および求職案内ボードを設置いたします。書式は問いませんので、ご自由に貼付してください。大学、研究所、企業、博物館などを対象にポスドク、教育職、研究職、技術職の求人案内を広く募集いたします。また求職活動中の会員の

方々の自己アピールの場としてご利用ください。さらに求職中の会員にサイン（リボンなど）を着用していただく、発表ポスターに貼付していただくことも検討中です。企画が決まり次第大会ホームページに掲載いたします。

託児室

大会期間中に託児室を開設します。7月中旬に電子メールによる利用アンケート調査を実施します。アンケートの結果をもとに託児室の規模と利用料金を決定したいと考えておりますので、利用予定者はアンケートにご協力をお願いします。

懇親会

大会第2日目の夕刻にオークラフロンティアホテルつくば（〒305-0031 つくば市吾妻1丁目1364-1）で懇親会を行います。国際会議場から懇親会会場までは徒歩10分、つくばエクスプレス（9月開業予定）のつくば駅からは徒歩1分です。

宿泊・交通

宿泊等の予約は近畿日本ツーリスト（つくば支店）が

幹旋します。本号に掲載の案内をご覧ください。大会ホームページからも宿泊案内にリンクしていますのでご利用ください。

つくば国際会議場には駐車場も付設されていますが、駐車台数が限られていますのでご注意ください。

申し込み方法

参加申し込みはインターネットでの申し込みを原則とします。インターネットをご利用になれない場合のみ、郵送でお申し込み下さい。郵送申し込みの詳細につきましては、日本動物学会事務局（電話：03-3814-5461）にお問い合わせ下さい。申し込みの受付開始は5月10日（火）です。発表申し込みの締切りはインターネットの場合は6月15日（水）、郵送の場合は6月8日（水）です。大会参加のみの方は、いずれの場合も9月15日まで参加登録が可能です。インターネットによる参加申し込みは9月15日（木）まで可能ですが、6月15日（水）以降の申し込みは予稿集の参加者名簿に記載されない可能性があります。また参加費も当日参加の金額となりますのでご注意ください。

第76回日本動物学会大会 一般研究発表の専門分野区分表

- | | | |
|--|---|--|
| <p>A. 分類・系統</p> <ul style="list-style-type: none"> 1) 無脊椎動物 2) 脊椎動物 3) 進化・多様性 4) その他 <p>B. 形態・細胞</p> <ul style="list-style-type: none"> 1) 原生動物 2) 多細胞動物 3) 培養細胞 4) 細胞骨格・細胞外基質 5) 細胞周期・細胞分裂・細胞運動 6) 鞭毛・纖毛運動 7) 筋収縮 8) 細胞内シグナル伝達 9) その他 <p>C. 発生</p> <ul style="list-style-type: none"> 1) 配偶子形成・減数分裂 2) 受精 3) 卵割・初期発生 4) 形態形成 5) 細胞分化 6) 再生 7) アポトーシス 8) 老化 9) その他 | <p>D. 生理</p> <ul style="list-style-type: none"> 1) 心臓調節 2) 呼吸・排出 3) 感覚 4) 神経興奮・神経伝達 5) 脳・中枢 6) 体色変化 7) 体液調節・膜輸送 8) 生体防御・免疫 9) ニューロロジ 10) 生物時計 11) 個体運動・バイオメカニクス 12) その他 <p>E. 生化学</p> <ul style="list-style-type: none"> 1) 糖質 2) 脂質 3) 天然物 4) 核酸・タンパク質合成 5) 酵素・タンパク質分子構造 6) 代謝 7) 膜・エネルギー変換 8) その他 <p>F. 内分泌</p> <ul style="list-style-type: none"> 1) ホルモン分子 2) 受容体 3) ストレス 4) 生殖とホルモン 5) 成長とホルモン 6) 発生・分化とホルモン | <p>7) 変態</p> <ul style="list-style-type: none"> 8) ホメオスタシス 9) 行動とホルモン 10) その他 <p>G. 遺伝</p> <ul style="list-style-type: none"> 1) 遺伝子 2) 遺伝子発現 3) 集団遺伝 4) 光修復・放射線 5) ゲノム科学 6) その他 <p>H. 生態・行動</p> <ul style="list-style-type: none"> 1) 個体群 2) 異種間関係・群集 3) 行動 4) 生物社会 5) 環境と生物 6) 生活史 7) 生物分布・生物地理 8) その他 <p>I. その他</p> <ul style="list-style-type: none"> 1) 科学史 2) 研究技術 3) モデル動物 4) 理科教育 5) その他 |
|--|---|--|

インターネットでの申し込み

大会ホームページ (<http://www.biol.tsukuba.ac.jp/zsj2005/>) にアクセスし、発表の有無にかかわらず、まず参加登録を行ってください。大会ホームページは動物学会ホームページ (<http://wwwsoc.nii.ac.jp/zsj/>) からリンクしています。登録が完了すると6桁の参加登録番号が発行されます。この番号は参加費のお支払いの際に必要となりますので、必ず印刷して保管してください。

一般発表がある場合は、参加登録を行った後、「演題登録」のページからお申込みください。発表申し込みには日本動物学会会員番号の入力が必要になります。入力がない場合は申し込みを完了することができませんので、必ず動物学会ホームページ上の会員情報ページにて確認してください。発表申し込み期間は2005年5月10日(火)から6月15日(水)ですが、6月22日(水)正午まではインターネット上で内容の修正が可能です。

参加費

6月15日(消印有効)までにお払込の場合:

大会参加費: 一般会員7,000円, 学生会員5,000円,
非会員9,000円

懇親会費: 一般会員6,000円, 学生会員5,000円,
非会員7,000円

6月16日以降にお払込の場合(当日参加を含む):

大会参加費: 一般会員8,000円, 学生会員6,000円,
非会員10,000円

懇親会費: 一般会員7,000円, 学生会員6,000円,
非会員8,000円

送金の方法

インターネットあるいは郵送のいずれの申し込み方法とも、大会参加費、懇親会費は、本号に綴じ込みの第76回大会用郵便払込取扱票を使用してお支払いください。払い込みには、一人1枚ずつ別々の払込取扱票をお使い

ください。一枚の払込票を用いて、研究室単位等、複数の方でまとめてお支払いにならないでください。払込取扱票の払込金受領証は大会準備委員会に送っていただく必要はありません。領収書としてお手元に保管してください。一度お支払いいただいた参加費、懇親会費は、原則として返却できませんのでご了承ください。

インターネットで申し込みをされた方は、申し込みの際に参加登録受付番号(6桁の数字)が発行されます(詳しくは「申し込み方法」をご覧ください)。この番号を第76回大会用郵便払込取扱票の所定の枠内に必ず記入してください。大会専用の払込取扱票を使用しない場合は、必ず通信欄に受付番号を記入してください。払い込み先は以下の通りです。

口座番号 00160-3-334348

加入者名 日本動物学会第76回大会準備委員会

その他

大会には参加せず、予稿集だけを入手したい方は、第76回大会用の郵便払込取扱票の通信欄に「予稿集のみ」と明記して、所定の金額をお払い込みください。6月15日(消印有効)までにお払い込みの場合は4,000円、6月16日以降のお払い込みの場合は5,000円です。

大会開催に関する最新の情報は、大会ホームページで順次お知らせしますのでご覧ください。

本大会に関するご意見やご希望がありましたら、下記にお寄せください。

大会準備委員会委員長: 沼田 治

〒305-8572 つくば市天王台1-1-1

筑波大学大学院生命環境科学研究科構造生物学専攻

(E-mail: numata@sakura.cc.tsukuba.ac.jp)

事務局: 山岸 宏

〒305-8572 つくば市天王台1-1-1

筑波大学大学院生命環境科学研究科情報生物学専攻

(E-mail: yamagishi@biol.tsukuba.ac.jp)

日本動物学会第76回大会(つくば) 宿泊のご案内

本大会では、近畿日本ツーリストが宿泊の斡旋をさせていただくことになりました。学会場にアクセスの良いホテルを下記のとおり、ご用意いたしましたので下記の要領にてお早めにお申し込みください。皆様方のご参加を心よりお待ち申し上げます。

●ご宿泊のご案内

- ◇宿泊料金は、1泊朝食付、サービス料・消費税込みの一人様あたりの料金です。
- ◇ホテルの予約は先着順に配宿してまいります。
- ◇下記以外のホテルをご希望の場合には、備考欄に宿泊日、ご予算、ホテル名等をご記入ください。

【宿泊期間：平成17年10月5日(水)～7日(金) 3泊】

申込番号	地区・ホテル名	会議場からの距離	部屋タイプ	宿泊料金
1	オークラフロンティアホテル つくば(本館)	会議場から徒歩7,8分 つくばセンターから徒歩1分	シングル	¥10,500
2			ツイン ※2名使用の1名あたり	¥9,450
3	オークラフロンティアホテル つくば(エポカル)	会議場の隣 つくばセンターから徒歩8分	シングル	¥10,500
4	ホテルグランド東雲	会議場から徒歩12分 つくばセンターから徒歩8分	シングル	¥7,350

●お申込方法

- ◇所定の申込用紙にてFAXまたはメールでお申し込み下さい。

※お申込み締切日：平成17年9月5日(月)

●予約の確認とご送金について

- ◇〈予約回答書兼請求書〉がお手元に届きましたら、請求書に記載されております当社指定の銀行口座にお振込みいただくか、現金書留にて当支店までご送金ください。
- ◇送金期日：9月22日(木)迄にお支払いを完了ください。ご送金がない場合には予約が取消しになる場合がございます。
- ◇領収書希望の方は、備考欄にその旨をご記入ください。

●予約の変更・取消について

取消・変更は必ず文書(E-mailまたはFAX)により近畿日本ツーリストつくば支店迄ご連絡ください。原則として各宿泊機関の約款により取消し料をお預かりし、残額を払い戻しいたします。宿泊機関が定める標準の取消し料は以下の通りです。

●旅行開始日の前から起算して

20日前～8日前	7日前～前前日前	前日	当日取消・無連絡不泊
20%	30%	40%	100%

●お申込みお問合せ先

近畿日本ツーリスト株式会社 つくば支店
「日本動物学会第76回大会」係
〒305-0033 茨城県つくば市東新井19-7 メルシービル 2F
TEL：(029)852-2255 FAX：(029)852-2266
E-mail：tsukuba@or.knt.co.jp

FAX : (029)852-2266

日本動物学会第76回大会 宿泊申込書

お申込み締切日 : 平成17年 9 月 5 日(月)

ふりがな									
申込担当者氏名									
連絡先住所 (回答書送付先)	〒 (勤務先・自宅)								
勤務先(所属)									
E-mail :									
電 話 :		F A X :							
フリガナ 宿泊者氏名	性別	宿泊希望日			部屋 タイプ	泊数	第1希望 ホテル コード	第2希望 ホテル コード	フリガナ 同室者氏名
10/5 (水)	10/6 (木)	10/7 (金)							
(例) きんてつ たろう 近鉄太郎	男	○	○		T	2	1	2	きんてつ はなこ 近鉄花子

◎ホテルコード、部屋タイプ(S:シングル、T:ツイン)、宿泊数をご記入下さい。なお、ツインご希望の場合、同室者名をご記入下さい。

◎必ず第2希望もご記入下さい。

◎申込書を郵送いただく場合は、必ず控え(コピー)をお取り下さい。

■ご要望欄■

返金先口座(変更・取消しによる返金が生じた場合のため)

銀行	支店	普通 ・ 当座	口座番号	口座名義
----	----	---------------	------	------

お申込みお問合せ先

近畿日本ツーリスト株式会社 つくば支店
「日本動物学会第76回大会」係
〒305-0033 茨城県つくば市東新井19-7 メルシービル 2F
TEL : (029)852-2255 FAX : (029)852-2266
受付時間 : 月曜～金曜 10:00～17:45(土日祝は休ませていただいております)

「生物科学ニュース」の購読・ご利用のおすすめ

近年の生命科学の進歩はめざましく、新しい分野が次々と開かれ、その結果として新しい学会や雑誌が次々と設立・刊行されると共に、日々各種の会合がめまぐるしく催されております。もはや個々の学会や個人がこれらの情報を処理していける時期ではなくなってきております。

この時代に対処してゆくために「生物科学ニュース」は日本動物学会および日本植物学会の和文情報誌として、会員への情報伝達、広報はもちろん、生物学に関連した学会・国際会議・シンポジウム・講演会・研修会などの開催予定とプログラム、人事・研究助成金などの公募記事、書評、関連分野の動向などを中心に、幅広く生物科学関連ニュースをもりこみ編集・刊行されています。

「生物科学ニュース」は両学会の約5,000名の会員に配布されていますが、会員以外の個人の方あるいは機関でもご購読いただけます。この機会にぜひご購読くださいますようお願い申し上げます。ご送付先、お電話番号など明記のうえ下記あてハガキ、またはファックスなど書面でお申し込みくだされば折り返し請求書をお送り申し上げます。

記

「生物科学ニュース」 月刊（毎月20日発行）／B5判／毎号平均22頁

編集・発行 生物科学ニュース編集委員会（日本動物学会・日本植物学会）

年間購読料 3,100円（税込・送料無料）

購読料は原則として年間前払いでお願いしております。

ご希望の月号からご購読いただけますが、1月号から12月号までの12冊を一期間としますため、途中月からのご購読の場合は初年度のみ月割の購読料となります。以降は購読中止のご連絡をいただかない限り翌年に自動継続し1月号から12月号のサイクルで更新させていただきます。

機関購読の場合はご送付先にご担当の個人名をお入れください。

お支払いに際し特定の書類が必要な場合は作成いたしますのでご連絡ください。

見本誌ご希望の場合はお送りいたします。

すでに購読ご登録の場合はご容赦下さい。

年間購読料 3,100円（改定された場合は別途ご案内します）

〒113-0033 東京都文京区本郷2-27-2 東真ビル

（社）日本動物学会（TEL 03-3814-5461 FAX 03-3814-6216）

（社）日本植物学会（TEL 03-3814-5675 FAX 03-3814-5352）

関連記事掲載を御希望の方は、「生物科学ニュース」最新号を参照の上、記事を簡潔にまとめ、下記編集局宛にお送り下さい。編集委員会が関連記事と認めた場合には無料で掲載させていただきますが、様式の統一のため記事の手直しを行なうことがあります。なお、編集委員会では記事の要約表現の改訂を独自に行なうことがあります。また学会や研究会が独自の記事を出したい時には、その都度必要なスペース（“ひろば”欄）を買い切ることができます。“ひろば”の校正は買い切られた方をお願い致します。

◦ 料金：1 ページ（2,000 字） 40,000 円

1/2 ページ（1,000 字） 20,000 円

1/4 ページ（500 字） 10,000 円

◦ 記事送付先：〒113-0033 東京都文京区本郷2-27-2 東真ビル 生物科学ニュース編集局

◦ 原稿をお送り下される場合、以下の点にご留意下さい。

1) 生物科学ニュースに原稿をお送りいただく場合は、生物科学ニュース編集局 (bsnews@bsj.or.jp) に、電子メールの本文または添付書類（テキストファイル、マイクロソフトワードまたはアップルワークス書類に限る。ファイル名に拡張子を付ける。）で、Subject に「ニュース原稿」と記入の上、お送り下さい。フロッピーディスクを郵送いただいても結構です。なお、修飾文字や特殊文字をご使用の際は、同時にプリントアウトしたものをファックス（03-3814-6216）にてお送り下さい。図表等のファイルについては、予めご相談下さい。書式等は生物科学ニュース最新号をご参照下さい。

2) 現在のところ、書評欄への投稿は受け付けておりません。

3) 掲載原稿の締切日（必着）は以下の通りです。

No.401 2005年5月号 2005年3月14日（月）

No.402 2005年6月号 2005年4月11日（月）

No.403 2005年7月号 2005年5月16日（月）

No.404 2005年8月号 2005年6月13日（月）

No.405 2005年9月号 2005年7月11日（月）

No.406 2005年10月号 2005年8月15日（月）

No.407 2005年11月号 2005年9月12日（月）

No.408 2005年12月号 2005年10月17日（月）

No.409 2006年1月号 2005年11月14日（月）

No.410 2006年2月号 2005年11月28日（月）

No.411 2006年3月号 2006年1月16日（月）

生物科学ニュース No.399 2005年3月（月刊）

定価 270円（消費税込）

運営委員会

社団法人 日本動物学会 岡 良隆・久保英夫・大島範子 (<http://www.soc.nii.ac.jp/zsj/>)

社団法人 日本植物学会 佐藤典裕・加藤美砂子・園池公毅 (<http://bsj.or.jp/>)

編集委員会

社団法人 日本植物学会 太田尚孝・太田にじ・喜多陽子・澤 進一郎・加藤美砂子（幹事）

社団法人 日本動物学会 赤染康久・小畑秀一・佐藤 恵・服田昌之・久保英夫（幹事）

発行 (社)日本動物学会・(社)日本植物学会 生物科学ニュース編集委員会 〒113-0033 東京都文京区本郷2-27-2 東真ビル / FAX 03-3814-6216

印刷 昭和信息プロセス株式会社 〒108-0073 東京都港区三田5-14-3 TEL 03-3452-8451

購読申込：生物科学ニュース編集委員会 / 〒113-0033 東京都文京区本郷2-27-2 東真ビル
FAX 03-3814-6216
